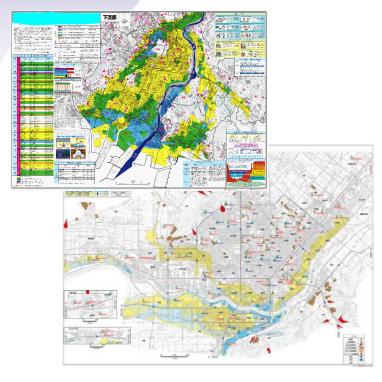
「地域防災力」向上へのaction!!





河川防災に関する「不安」や「悩み」ありませんか



- ハザードマップを各戸配布しているが、発災した事例が無いので実際に活用されるか不安。
- 地域住民へ平常時からハザードマップや避難行動に関する正しい理解を浸透させたい。
- 想定区域の人々に避難をしてもら えなかったという苦い経験があ る。
- ・防災研修会等に参加されない住民 に対してもハザードマップに関す る理解を深めてもらいたい。

今こそ「地域防災力」の底上げが重要な時です



近年、ゲリラ豪雨のような集中 豪雨による水災害が各地で頻発し ており、同時に地域経済などへ甚 大な被害を及ぼしています。

「公助」として、河川を管理する国や都道府県では、毎年のように発生する洪水被害軽減のため、河川整備を進められていますが、全て完成するまでには長い年月が必要となるため、ハード面だけでは対応することはできません。



また、第一線で水災害を未然に 防ぐ役割を担っている水防団員の 減少や高齢化、サラリーマン団員 の増加による平日の参集人数の不 足等により、十分な水防活動が行 えない懸念もあり、ソフト面の対 策も重要と考えられます。

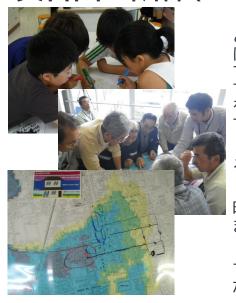
当社は、これまで河川に関する 各種調査や検討・解析等の防災・ 減災分野のほか、住民との合意形 成に関する業務にも幅広く携わっ てきました。

これまでの経験を生かし、対象 地域の住民自らが水の危険性に 「気づき」、どのように行動にす べきか「理解」するということの 重要性に着目し、犠牲者を出さな いまちづくりをご提案します。 ■ 地域防災力向上に向けたactionの 地域とのコミュニケーションツール、防災リーダーの育成として

DIG:訓練参加者が小グループで地図を囲み、地域のリスクなどを地図に書き込みながら、災害対応の検討を進めていく訓練のこと。

Disaster Imagination Gameの略。

災害図上訓練(DIG)を活用



防災教育というと一方的な講演会をイメージされることが多いのですが、小人数のグループで作業するDIG は、居住地域の地図を用いて、住民自らが地域に潜在している防災上の課題に"気づく"ことができるツールです。グループ討議の結果を共有することによって、長所を生かした災害時の行動基準を作成することができます。

また学校等で実施する場合には、 事故等から身を守る「安全マップ」として利用することも可能です。

行政側にとってDIGの活用は、災害時の意外な課題が明らかになることもあり、有益なツールとして期待できます。

対象は小学4年生以上であればどなたでも実施可能ですので、出前講座や災害訓練などでご活用されてはいかがでしょうか。

当社実績

·北見河川事務所河川防災環境学習支援

(北海道開発局 網走開発建設部)

·天塩川上流 名寄河川事務所管内災害対応検討外業務 (北海道開発局 旭川開発建設部)

会合に参加できない地域の方々へも理解を促進

• 「まるごとまちごとハザードマップ(まるまち)」を活用



これまで、地域で大水害が発生したことを後世に伝える取り組みとして、石碑や水位標を設置し洪水痕跡 を保存する取り組みが各地で行われてきました。

しかし、近年では新興住宅地の造成などにより、地域に被災経験のある住民は少なくなっているほか、住民同士のコミュニティー意識も年々薄くなってきており、自分の住んでいる地域の危険度情報を知らない方も多くなっています。

「まるごとまちごとハザードマップ」は、ハザードマップの情報を、住民の目につくところへ掲示し、平時より洪水の危険性等の危機意識を醸成を図る取り組みです。近年では東日本大震災を契機に津波が襲来した地域でも整備されてきています。

また、実際に危険箇所や気になる箇所を自らの足で確認する「タウンウォッチング」を組み合わせたり、「タイムライン」(災害発生時までの行動を時系列で整理する)作成などを組み合わせることにより、現実的に認識することができるようになります。

当社実績

· 十勝川水系啓蒙看板設置資料作成

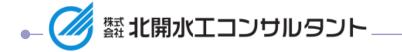
避難所 〇〇〇〇小学校 Shelter for this awa is 〇〇 Elementary School

(北海道開発局 帯広開発建設部)

・【社会貢献事業】音更町まるごとまちごとハザードマップ看板設置 (音更町へ寄贈)

このようなことが期待できます

- ・防災に関心を持たれている地域住民に対し、「DIG」をきっかけとして、 災害時や避難時の留意事項の周知等、対応力の底上げに繋がります。
- ・地域住民の目に留まりやすい場所へ浸水深看板を設置することにより、 地域の危険性を実感することができ、防災に関心の低い住民に対しても、 平常時から水災害への理解を促進できます。
- ・「DIG」と「まるまち」を組み合わせることにより、 顔が見える「安心感」と同時に、官民一体となった地域コミュニティーの 強化に繋がります。



http://www.suiko.jp

本	± ∓080-0314	河東郡音更町共栄台西11丁目1番地	Tel 0155-31-6171
札幌支店	〒062-0052	札幌市豊平区月寒東2条20丁目5番10号	Tel 011-857-7605
旭川支店	〒070-0025	旭川市東5条3丁目2番8号	Tel 0166-27-8301
網走支店	₹ 7093-0006	網走市南6条東6丁目11番3	Tel 0152-43-0451
釧路支店	₹ 7085-0026	釧路市寿2丁目4番3号	Tel 0154-25-2045
留萌支店	〒077−0032	留萌市宮園町1丁目5番地14	Tel 0164-43-7864

●お問い合わせ: 本社 防災環境部 (0155-31-0658 担当:油川・松川)

そのほか、お近くの支店担当者までお気軽にお問い合わせください